

日本共産党の機関紙「労働新聞」の「労働者生活改善」の欄に

「工場の労働者生活改善」の欄に

「労働者生活改善」の欄に

「労働者生活改善」の欄に

「労働者生活改善」の欄に

別記

所民諸君に訴ふ

フットンメリヤス愛用者諸君に訴ふ!!

私達メリヤス従業員は全般工場から工賃一割三分の値下りを受け、甲斐も無い私達メリヤス工場の生活状態は、他の産業労働者に比較してお話しに、程悲慘なものである事は、諸君も御存知の事と思ひます。毎朝六時頃から夜十時迄馬鹿に働いて、二円の収入は、難いものがある。工場には直接製造販売して居るものも少ない。同屋又は会社等から下請けするものも、工場法を適用せず、健康保険法も適用せず、せめて毎年十月から翌年三月まで四ヶ月間は全労使事は出来ません。所謂霜枯といふ無収入期があるのです。

数年間打續く世界不況は、年々之私達メリヤス工場の賃金を漸次引下り、其の生活を極度に脅威して今日に至り、最悪の以上値下りも強行されては私達メリヤス工場の生活を支持すること出来ません。今般の値下りは私達の働く工場主の同屋である本所や倉庫蔵蔵と言ふ東都に於けるメリヤス界の吸血地獄取魔と通称される居る冷血漢の執つた八分値下り原因となつて工場主達は更に私達職工に一割三分の値下りを要求して来たのです。

工場主達の同屋は東京のフットン編織同盟と言ふ組合が出来て居るが、採取魔念を為し、値下り強要に首領として終つたり、冷血漢倉庫は数年間、私等職工及工場主等の採取した金を、汗館を新築、妻室を構へる等の横暴を極め、今般の値下りには、儲けなからず、値下りする不承知を、私等には出さぬ。職工の生活と倉庫蔵蔵の利益を、別個に非人道的非道徳的態度で私達に批判して居る。私達は、私達の値下り私達を止め、止らぬレナラン会社及其の下職中、外倉社等、他の多くメリヤス従業員は、私達の生活を脅威する影徳の甚大なる事を、考慮して、今日最悪の忍み、膝で無い敢然起

て、値下り絶對及財待遇改善を要求して、共に総罷業を決定し、彼等及び省を叩き、あつた。私等、関東メリヤス工組合は、全力を挙げて、争議闘争を應援して、居る。全国の友誼組合も、激勸應援金を寄る。来るべき。